

## 施設概要

藤前干潟は港湾施設や工業地帯の中にあり、周辺で大規模な埋め立てが進む中、埋め立て計画を中止して残された貴重な干潟です。この干潟で暮らす多くの鳥類や海の生きものとの体験や、学習をするための拠点施設として、藤前活動センターを建設しました。

この施設の利用をととして、干潟で生活する生きもの達と、私達人間との共存・関わりについて考えるきっかけの場となることをめざしています。

所在地／名古屋市港区藤前二丁目202番地  
規模／地上3階建 延床面積 ……583m<sup>2</sup>  
構成／1階 展示室・レクチャー室

2階 多目的室

3階 展望室

この施設は環境に配慮し、下記の設備を取り入れています。

太陽光発電  
屋上緑化

## 利用案内

開館時間／午前9時00分～午後4時30分  
休館日／毎月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）  
第3水曜日（第3水曜日が祝日の場合は第4水曜日）  
年末年始（12月29日から翌年1月3日）  
※団体（10名以上）については事前予約が必要です。



## 交通案内



### バス

名古屋駅名鉄バスセンターより  
●三重交通バス  
「サンビーチ日光川」行、  
「南陽町藤前」下車、徒歩15分



### 稲永ビジターセンター

稲永ビジターセンターは、藤前干潟全体と干潟周辺地域の環境に関する情報を提供するために、また藤前干潟の自然保護・活用のための情報収集とその情報を発信することを目的に造られています。  
あおなみ線名古屋駅から（所要時間21分）野跡駅下車後徒歩約15分

## お問い合わせ

ラムサール条約湿地藤前干潟  
●藤前活動センター  
〒455-0855 名古屋市港区藤前二丁目202番地  
TEL:052-309-7260 FAX:052-309-7261

ラムサール条約湿地藤前干潟  
●稲永ビジターセンター  
〒455-0845 名古屋市港区野跡4丁目11番2号  
TEL:052-389-5821 FAX:052-389-5822

ラムサール条約湿地藤前干潟

## 藤前活動センター

Ramsar site Fujimae-higata FUJIMAE Active Center







展望室

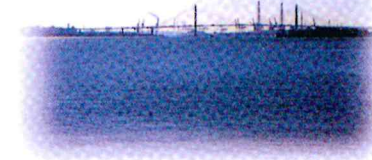


展示室



引き潮の藤前干潟

藤前干潟では、潮位が名古屋港基準面で70cm以下のときに干潟が海面に現れます。干潟を見るには干潮時刻の1時間前に行くようにすると良いでしょう。



満ち潮の藤前干潟



### 藤前干潟の水鳥

藤前干潟は、シギ・チドリ類の「東アジア～オーストラリア渡りルート」上の重要な中継地となっています。春秋の渡りの時期には、ハマシギ、メダイチドリなどのシギ・チドリ類がたくさん渡来し、採餌・休息の場として干潟を利用しています。また、冬季にはロシア極東、アラスカなどから多数のカモ類が渡来し越冬します。その他、ミサゴなどの猛禽類やカワウ、アオサギのように1年中ここで過ごす鳥も見られます。

### ラムサール条約と藤前干潟

ラムサール条約は、正式には『特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約』といえます。湿地は多くの生きものの生息地として、またエサ場や渡り鳥の休息地といった重要な役割を果たしていることから、こうした湿地を国際的に協力して保全することをめざしています。藤前干潟は、2002(平成14)年11月ラムサール条約に登録されました。

藤前干潟では、四季折々に訪れる鳥たちや、生きものたちの輝き、不思議で精妙な自然のしみを学ぶことができます。活動センターなどの行事に参加して、あなたもすてきな出会いを体験してみてください。



干潟の生きものの観察



レクチャー室



オオソリハシギ



ハマシギ

